

文芸 六ふたせ

短歌

【岩瀬短歌会】題詠「時・刻・季」

皇帝ダリア満開となる冬がきてわれも
負けじと筋トレをする

泉三郎

どんぐりの季節到来と鳴きたてるカケ
スのだみ声鎮守の杜に

瀧井幸子

「かわたれのこの時が好き」といつも
言う少女の見ている薄茜空

渡辺しな子

短日の歌会は仏に留守たのみチャイム
鳴るまで時を忘るる

小林美瑛子

季すでに新芽いだきし沙羅の木も今朝
の寒さにかぢかみてをり

川崎邦子

冬枯れのなかにも蠟梅の葉は残り花の
季まつ蒼をいだく

広沢日出子

ぎっしりと蕾を持てる山茶花は惜しま
ずつぎつぎ時間差で咲く

久保悦子

月山寺紅葉の季の最澄の夢の一隅照ら
す木もれ日

児玉廣子

兄のお下がりの彫刻刀で干支を彫るい
つまで続くか年賀のあいさつ

浜野和操

百年が過ぎればきつと慣れるだろう叶
わぬ恋の孤独な時間

瀧田勇

侍ジャパンの戦いぶりに時忘れ勝敗越
えて胸奥熱し

雨谷友子

夢うつつに過ごすひととき「ケセラセ
ラ」ラジオ深夜便から流れてきたり

古賀澄

歴史と言う時の流れに何まなぶ戦争反
対、平和の日々を

大関登志子

かなうなら時の流れを緩くして晩年を
しみじみ楽しみたいね

鈴木英雄

病癒えし友の笑顔を浮かべつつ東北線
の時刻表繰る

大久保富美江

俚謡

【さくら俚謡会】

蛙飛び出す春田の耕起命大事に逃がす
爺

山もみじ

どきんとときめく誘いもあって八十路
過ぎて染める髪

花野しぐれ

いばつたつもりでいい気になつて気が
つきや女房の言いなりに

みーちゃん

鮭鮫鱈蛇蛙蚊とほろ酔い機嫌で蠅と
言う

稲葉建正

田圃日溜り芹の芽萌える摘んで胡麻和
え春の味

田哲人

【一般投稿】

店先に寄り添ふ雛の眼差しは幾星霜の
憶ひ語るか

渡辺弘明

パパさんの手作り餃子美味しいね少し
早目の日曜の夕

袖山千鶴子

俳句

【一般投稿】

タクアン漬満足気なる夫の顔

長堀芳江

学舎に喧嘩消えて桜咲く

長堀勉

リンリン道、今朝も、サイクリン十五
キロ

青木勲



～安心と笑顔を未来へつなぐ～

稲川優子税理士事務所

桜川市真壁町桜井765-2

☎0296-54-1540

HP <https://ina-tax.tkcfn.com/>



未来に、社会に、
必要とされる印刷を



株式会社 デジタル印刷

事務所・工場 ☎0296-54-2626

つくば事務所 ☎029-877-1331

URL <https://digi-pri.com>

ISO・Pマーク認証取得までお手伝いします